

グループワークの進め方

カードに何を載せるか ― ACPのコンパクト版を考える ―

生駒市 在宅医療・介護連携 専門部会

今日の流れ

50分

他市事例の紹介

カード型でACPをまとめている4つの市町の様式を見ます

10分

グループワーク カードに何を載せるか

個人ワーク → A3で話し合う → マス数を調整する

25分

清書 模造紙にまとめる

枠の大きさはグループで自由に。項目とグループ名だけ書きます

15分

本日は発表の時間はありません。書き上げた模造紙を置いて終了です。

このワークの目的

1

「私ノート」は、書く負担が大きい

生駒市では私ノートの普及に取り組んできましたが、「重い」「書ききれない」という声があります。

2

もっと手軽な形を考えたい

免許証の裏の臓器提供意思表示のように、必要な事項だけをカード大にまとめられないか検討しています。

3

現場感覚で「何を載せるか」を出し合う

実際にその情報を受け取る側であるみなさんの感覚が、いちばんの手がかりになります。

カードの前提(3つ)

この範囲の中で考えてください

85.6×54mm

クレジットカードと同じ大きさ

財布や保険証入れに入れて
持ち歩くことを想定しています。

8マス

載せられるのは合計8マス

1項目＝1マス。大きく載せたい
項目は2マス(縦でも横でも)。

入口

「私ノート」の置き換えではない

私ノートに至るまでの入口として
位置づけています。

1 個人ワーク

3分

まず一人で、カードに載せたい項目を選びます。

- お手元の項目カード(切り取り済み)を、ワークシートのマスに置いてください。
- 書かずに、置いて・並べ替えて考えてください。何度でも入れ替えられます。
- 足したい項目があれば、白いカードに書いて加えてかまいません。

配布:項目カード(1枚ずつ切り取り済み)

[illegible]

- ・ この時点では、まだ話し合いません

- この時点では、まだ話し合いません

2 グループで話し合う

15分

A3ワークシートを使い、カードを置きながら話し合います。

- 1人ずつ順番に、なぜ載せたいのかを話してください。
- 出た項目のカードを、A3のマスに置いていきます。
- この段階では、1項目＝1マスで置きます。合計8マスを超えたら必ず何かを外す。
- 外した項目・迷った項目は、枠の外に寄せておいてください。

ポイント

- ・ 置いて動かせるので、何度でも入れ替えて構いません
- ・ 外すときの理由こそが、いちばん大事な材料になります

- 置いて動かせるので、何度でも入れ替えて構いません
- 外すときの理由こそが、いちばん大事な材料になります

3 マス数を調整する・意見の整理

7分

ここで、大きく載せたい項目を2マスに広げます。

- 書き込む欄が要る項目(延命治療の希望など)は2マス使ってよい。縦でも横でもかまいません。
- ただし合計は8マスのまま。2マスに広げたら、そのぶん何かを外す。
- 「6項目のうち2つが2マス」でも「8項目すべて1マス」でも構いません。
- 右上の実寸枠を見て、書ける分量におさまっているか確かめる。

ワークシート(A3)

ポイント

- どれを大きくするかは、その項目をどれだけ重く見るかの話です

清書 模造紙にまとめる

15分

A3で決まった内容を、模造紙に清書してください。模造紙がグループの成果物になります。

1 枠の区切り方は自由です

マスにとらわれず、項目ごとの枠の大きさをペンで自由に描いてください。大きく書きたい項目は、大きな枠にしてください。

2 書くのは、この2つだけ

カードに載せる項目と、グループ名。外した項目・迷った項目・理由は、A3に残っていれば十分です。

3 外枠の比率は変えずに

模造紙の外枠は、カードと同じ縦横比で刷ってあります。この枠の中に収めてください。

本日は発表の時間はありません。各グループの内容は事務局で整理し、次回の部会でお示しします。

清書用の模造紙

カードは貼らず、ペンで書き写してください。書き終わったら、そのままテーブルに置いてください。

本日出た意見の、この後の流れ

①

3グループの案を、同じ体裁のデザインに整える

項目の並びや文言の表記をそろえ、3つの案として仕上げます。

②

市民の方にアンケートを実施

整えた3案について、どれが分かりやすいかを伺います。

③

最も支持の多かった案をもとに、様式を決定

カードの様式として固め、配布の方法を検討していきます。

この場で結論を出していただく必要はありません。「決めきれなかったこと」も、デザインやアンケートの設問を考えるうえで大切な材料になります。